

四小コミュニティ・スクールの1年間の主な活動

学校運営協議会のようすはこちら →



学校運営協議会	1学期			2学期		3学期				
	参加や助言を行う学校行事									
	入学式	学校公開	学校給食運営委員会	運動会	道徳授業地区公開講座	文化的行事	地域防災・防犯会議	卒業式		
	第1回 学校運営協議会			第2回 学校運営協議会			第3回 学校運営協議会 熟議		第4回 学校運営協議会	第5回 学校運営協議会
	- 委員委嘱 - 学校経営方針 →承認 - 学校評価計画 →承認 - CS教員公募について			- 前年度の会計報告 →承認 - 今年度の予算計画 →承認 - 熟議のテーマについて					- 学校評価（中間）報告 CS委員による評価 - 全国学力・学習状況調査報告	- 学校評価報告（最終） CS委員による評価 - 次年度学校経営方針について →承認
				学校運営協議会委員と 本校教職員とで「四小これだけは」 について熟議（熟慮と議論）						

地域学校協働活動

放課後子ども教室

楽しい四 (^o^)/

月曜日：「プロジェクト四」/ 水曜日：室内遊び
火・木・金曜日：校庭遊び

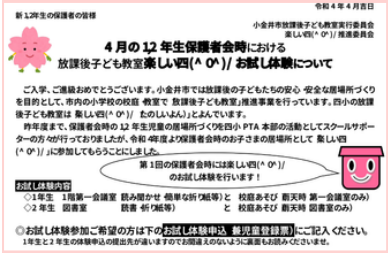
月曜日と水曜日の室内活動では、地域の芸術、伝統文化等の専門家を招いて体験活動を実施。また、4年生以上の小学生や中学生、卒業生が「楽しい四」のボランティアとして活躍。



専門家の方から、折り紙や陶芸など物づくりが学べて楽しい。



落語を聞いたよ。畳の上での作法も学び、日本の伝統文化を教えてください。



保護者会の時に参加できます。

探求活動

小さな田んぼ

地域の環境保全活動の専門家を招き、土づくりから田植え、田んぼの生き物の観察、稲刈り、脱穀、しめ縄作りなど、年間を通した体験活動を実施。



野川周辺では昔は米を作っていたんだね！

学校支援

授業支援では、大人の支援が必要な場合はボランティアを募集しています。また、学校行事前の環境整備や日常的に芝生維持管理作業を行うことで、教員の負担軽減、保護者と地域の皆さんとの接点づくりを進めています。

- 授業支援（町探検 / 地域安全マップ作り / ミシン学習支援）
- 芝生維持管理（ポット苗移植 / 芝刈り / 草抜き）
- 環境整備（運動会前の校庭の草抜き / 年末の玄関掃除など）



地域との連携

夏休みラジオ体操



四小宿泊避難訓練



ラジオ体操、避難所運営訓練、運動会受付には、学区の中学生も参加し、地域住民との交流を行っています！

PTAとの連携

資源回収（年4回）



運動会の受付



地域未来塾「やってみ四」

空調の整った図書室を開放し、子供たちの学習環境を整え、地域での多様な関わりを持つきっかけをめざします。

- 子供たちの学習機会、多様な居場所づくり
- 地域の方や大学生など、家庭以外とのつながり
- 長期休暇の生活リズムを整え、自習習慣づくり



安村 防災担当

PTA・地域未来塾 服部

私たちが **地域コーディネーター**です！

地域との連携 瀬上

- 仕事をしながら、得意なこと、好きなことを活かして活動しています！
- 3人で役割分担、連携＆協力！
- つながりを持てる良さ、学校と子供たちに寄与するやりがいを感じています！
- 地域コーディネーター＆ボランティアの仲間を募集しています！気軽に声をかけてください！

四小の特色ある地域学校協働活動 学校を核とした「四小宿泊避難訓練」

2024年度の宿泊避難訓練には、イベント要素を加え、「親子で楽しみながら防災を考える」をコンセプトに、幅広い世代、地域、関係団体へアプローチを行い、延べ130人の参加がありました。毎回進化した四小宿泊避難訓練を展開しています。

Plan

- ・もしもの時に備え、町会と学校の関係づくりとして、避難所運営協議会を設立（2017年）。
- ・四小と南中がCSになったことを受け、互いの学校運営協議会で、小・中連携で避難所運営について協議する。

地域コーディネーターが、

- ・避難所運営協議会に出席。
- ・防災訓練内容の企画と中学生ボランティアを担当。
- ・四小保護者に参加を呼び掛ける。

Do

- ・四小体育館で、地域参加の宿泊避難訓練を実施。
- ・中学生ボランティアが体験活動を行う。

地域コーディネーターが、

小中の子供たちが協働して体験ができるように支援
例）マンホールトイレの設置、避難所受付作業など

避難所運営には、多くの人に関わっている。防災倉庫に備えられているものを初めて見ました。

平日の日中に発災した際は、私たち中学生がこの地域にいるので、力になりたい。

地域コーディネーターが、

- ・市役所や関係機関に協力を依頼。
- ・南中に加え、一中にもボランティアを呼びかけ。
- ・小・中学生の関わりを増やした訓練プログラムを検討。

- ・課題は、受け入れや避難場所の割り振りなど、受付作業の混乱。
- ・訓練に参加する団体を増やしたい。

地域コーディネーターが、

- ・マンホールトイレ操作マニュアルを作成。
- ・宿泊避難訓練の報告書を作成し、四小、南中、町会等に掲示。

- ・四小の施設（災害時の給水設備）や防災倉庫に保管されているものを確認。
- ・市役所地域安全課との連携。

Check

Action

みんな大好き！コミュニティ・スクール（CS）

保護者の声

- ・親だけではできない体験や経験を積むことができ、大変感謝しています。
- ・ラジオ体操や自治会の防災訓練に子供と一緒に活動することで、地域の方と交流ができ、また自身の学びの場となっています。

地域住民の声

貫井遺跡から発掘された土器のかけらや縄文時代の大規模集落跡地から、この地の歴史を、授業や地域学校協働活動の中で取り上げて、地元への誇りを育んでほしいです。

教職員の声

CS委員の皆さんが「教員の働き方改革」について考えてくださり、私たちが授業に集中できるように学校を支援してくださっていることがありがたいです。

PTAの声

PTA活動の様々な場面において、どうしてもフォローしきれない対応など「地域の方々のご協力」をスムーズに支援して頂けるのは大変有難いと実感しております。地域の皆さんのご協力のおかげでPTAの不安や負担が軽くなりました。

小金井市立小金井第四小学校 コミュニティ・スクール

学校に集う人「みんなの笑顔が輝く学校」をめざして

小金井第四小学校は、令和4年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を導入した学校）になりました。

コミュニティ・スクール（CS）とは、学校が抱える諸課題を、学校と保護者や地域住民がともに話し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える、「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律）に基づいた仕組みを設置している学校です。同時に、地域の子供を地域で育てる「学校を核とした地域づくり」を進めています。

四小のコミュニティ・スクール（CS）の仕組み

